

統合報告書「セコムレポート」の発行にあたって

本レポートは、「セコムグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、2023年5月に発表した「セコムグループ ロードマップ2027」に焦点を当て、多様なステークホルダーの皆様との対話などを通じて頂いたご要望・ご助言を念頭に置き、作成いたしました。変わり続ける社会において、セコムの「安全・安心・快適・便利」なサービスを継続してお客様にお届けするために、従来からの重点施策を進化・発展させ企業価値を向上し、ステークホルダーの皆様への還元の実現を図る今後の取り組み方針を、ご理解・共有いただく一助となりましたら幸いです。

本レポートの編集にあたっては、IFRS財団(旧SASB)の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値創造ガイダンス」を参照しています。今後も、さらなる企業価値向上に向けて、IR活動に真摯に取り組んでいきます。



布施 達朗
 常務取締役
 広報・渉外・
 マーケティング本部長

報告対象範囲

原則としてセコム(株)、連結子会社、持分法適用関連会社および変動持分事業体を対象としています。ただし、対象が異なる場合は、その旨を記載しています。

報告対象期間

2023年3月31日に終了した年度の実績を報告対象としています。また一部、本レポート発行直近の取り組みも含まれます。

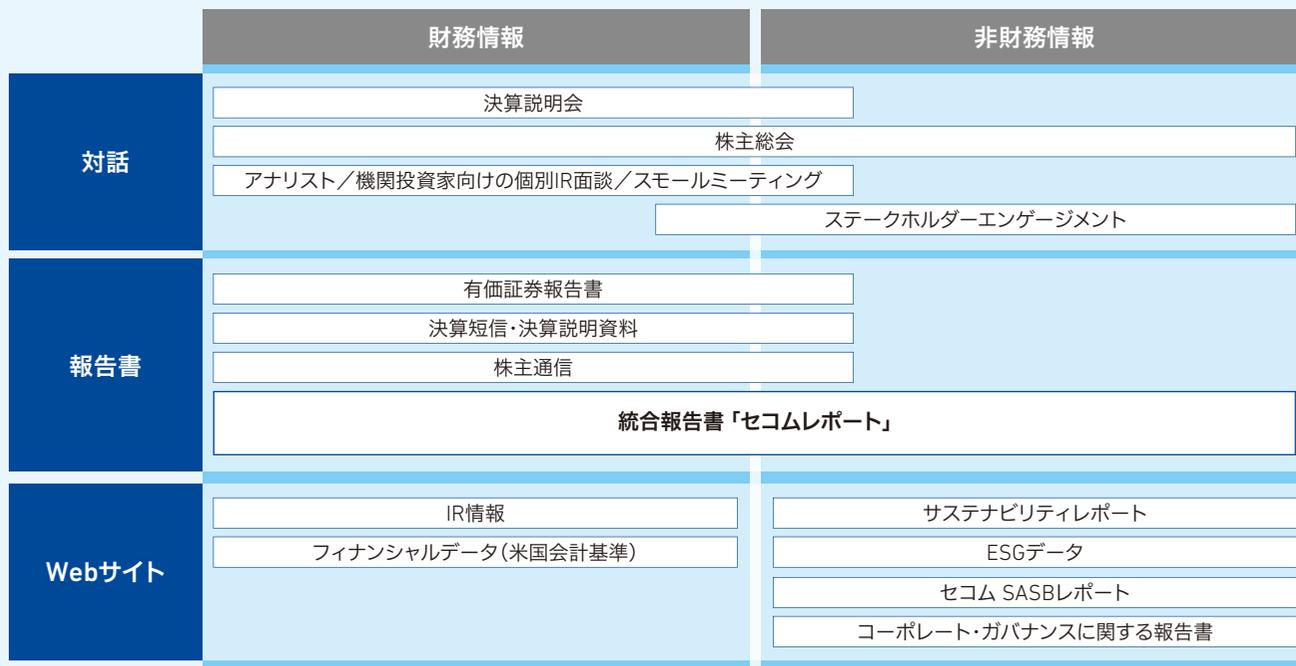
会計基準

本レポートに掲載の財務データにつきましては、別途記載がない限り、米国会計基準に準拠しています。

見通しに関する注意事項

本レポートには、セコムの将来についての計画、戦略および業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。実際の業績は、セコムの見通しと異なり得ることをご承知おきください。

情報体系図



IR情報はこちら

<https://www.secom.co.jp/corporate/ir/>



サステナビリティ情報はこちら

<https://www.secom.co.jp/corporate/sustainability/>